

## 令和5年度 事業報告

人口減少、少子高齢化が定着しつつある昨今ですが、人生百年時代または百十年時代といわれる新時代への変革突入を迎えて、今後の地域社会の問題解決の担い手として支える元気な高齢者世代がこれらのシルバー人材センターへの期待感が年々と高まり、その世代に対する要請は年々大きな役割と認識しつつあります。

その中で、令和2年度末からの新型コロナウイルス感染症の世界的な規模での拡大により、順調であった世界経済並びに国内経済・地域経済においても急激な景気落込みを受け、全国のシルバー人材センターも同様に会員数の減少や事業実績の落ち込みなど、多くのシルバー事業所で様々な影響を受けたところが多数ありました。

当シルバーはこのような状況下においても令和5年度をコロナ禍第5類と実質感染症終息を受けコロナ禍以前の拡大希望とし、地域やコミュニティーづくりの担い手として地域社会に貢献することを責務として公益法人であるセンターの重要な役割であるという認識に立ち、令和5年度も「会員拡大」、「女性会員の加入促進」、「就業機会の拡大」を重点に事業の加速を進めました。

会員数については、四か年に及ぶコロナ禍の影響で入会説明会開催を十分にできないことを鑑み、積極的に、入会説明会を開催し、または女性限定の入会説明会を開催した結果、会員減少の懸念を払拭でき、令和元年度から引き続き5年連続で増加となりました。新入会者は106名（男性53名・女性53名）で年度末の会員総数は634名（男性376名・女性258名）となりました。

また、女性会員の就業機会拡大については、女性限定入会説明会を昨年度に引続き開催したこと、「保育補助及び児童クラブ補助員研修」の実施により女性会員の就業機会増加にも繋がりました。

事業実績については、請負・委任業務では、屋内清掃・荷物発送準備業務などの増加がありましたが、コロナ禍特需であった消毒業務等の契約金額が皆無となり、前年度比で517万円程の減少となりました。

派遣においては、特に就業延人員が大幅に増加し、契約金額は前年度比390万円程の増加でした。

その結果、8・9月期の二千年に一度いわれる猛暑並びに長雨と異常気象に見舞われて、思いどおりの就業体制が出来ぬままに請負・委任と派遣業務が何とか終えましたが、残念ながら契約金額合計は前年度比127万円程の減少となりました。

派遣業務が増加となった要因は事業所等に対し、令和元年度より始めた「派遣事業のチラシ」の配布が浸透し、信用度が増したことが新規受注に繋がってきていることと、令和3年度からの保育補助及び児童クラブ補助について関係団体等からの遺跡発掘等の継続依頼が新規・増加に繋がったことなどが挙げられます。

これからも、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員、役職員一人ひとりがシルバー人材センターの意義役割を認識し、各々の経験と知恵を最大限に活かしながら、一般家庭、事業所等に対するシルバー事業の意義を積極的に推進するとともに、就業機会の確保を積極的に図りながら、シルバー事業進化・発展のために全力を注いで取り組んでまいります。